

校長室だより

第14号 令和7年7月17日

江戸川区立瑞江小学校長

牧岡 優美子



カブトムシの夏授業



年1回、夏になると瑞江小に立派なカブトムシとクワガタがやってくる授業。これは理科の先生のご自宅で飼われている昆虫で、子どもたちが触りながら学習する人気の授業です。大きなヘラクレスオオカブトムシ、金色のババオウゴンオニクワガタ、虹色に光るパプアキンイロクワガタなどが揃い、今年はペルー産のタテツノカブト（ゴロファ・アエギオン）という珍しいカブトムシも仲間入りしました。生まれて初めて触る子も持ち方を教わり、ワーワー、キャーキャーと大騒ぎしながら授業を楽しみました。



シャボン玉遊び

1年生が生活科の夏単元で、シャボン玉遊びをしました。団扇の骨やストローを使って、上手にシャボン玉を飛ばします。風上を見付けて、高さや強さも意識して飛ばすと、風に乗ってキラキラ光るシャボン玉が遠くまで流れていきました。友達のシャボン玉とつながって、泡のようになったまま飛んだのもあり、大喜びでした。



水難防止の着衣泳

水難事故防止の学習として毎年、水泳指導の最終週に「着衣泳」を行っています。もしも水難事故にあった時には、パニックにならず救助を待てるように、入水時の服の重さ、泳ぎにくさを体験します。命を守る授業なので、今年から4～6年生の実施にしました。

1学期間ありがとうございました。熱中症に十分注意してよい夏をお過ごしください。

